



北小魂



【めざす学校像】5つの気がみなぎる学校
 ~魅せる北小魂! PROUD2019~新しい時代を切り拓く先 駆 者となれ

『寄り添う』の本当の意味

校長 残間 利博

我々教師は、よく『子どもに寄り添う』という言葉を使います。学習面では「授業中の理解が進まない子にヒントを出す」「宿題や課題が残っている子を激励をする」であったり、生活面では「問題行動を起こした子どもに、なぜそうしてしまったのか親身になって話を聞く」「そうじなどを一緒にやりながら指導する」であったりします。しかし、明確な「寄り添い」の定義があるわけではないので、現場の教師がその都度判断して『寄り添う』こととなります。それと同じように、各家庭ではその家庭なりの『寄り添い』があるはずですが、しかし、これも恐らくこれが正解といえる行為というのではないでしょう。では、『寄り添う』の本当の意味は何か? 次の話が、そのヒントになるような気がします。

幼い子たちが庭で遊んでいた。その中の一人が急に転んで、わあーんと泣き出した。見ていると、一人の女の子が駆け寄った。さて、女の子はどうするのだろう。こんな場合、2つのやり方が考えられる。1つは黙って起こしてやる。もう一つは、「さあ、起きなさい。」と励ましてやる。このどちらであろうかと眺めていたら、意外にも女の子は、泣きじゃくっている子のそばに、ごろんと寝ころんだ。そして、泣き虫の顔を見て、にっこり笑った。すると、泣いている男の子も、目にいっぱい涙をためたまま笑った。そこで、女の子が「起きようか。」と言うと、男の子は「うん。」とうなずいて、そのまま起き上がった。よく晴れた日の、ほほえましい出来事でした。

前・臨済宗円覚寺派管長の足立大進老師が『即今只今』という本の中で書いている言葉です。読んでおわかりのとおり、これは老師が自身の学びや経験則から導き出したものの道理ではありません。まだ年端のいかない女の子が何気なくとった言動です。恐らく、この話を読んだ方の誰もが、このような結末(行動)を予想していなかったのではないのでしょうか。だとしたら、これは一体どういうことか?

大人はいいも悪いも行為に「意味」をもたせがります。それが給料をもらって働く「仕事」ならなおさらです。意味をもたせることで、行為に価値を見いだそうとするからです。しかし、あの女の子は、そんなことは全く考えていなかったはず。思いのままにとっさにとった行動...それが「相手の横にごろんと寝ころんで、にっこり笑う」ことだったのでしょ。そんな素敵な行動がとれる女の子の家庭はどういう環境なのだろう...と想像するにつけ、温かい雰囲気の中で伸び伸びと、しかし慈しみの愛情に包まれた家族が目に見えられます。

私はよく晴れた日の昼休み、2階の校長室の窓から校庭を元気良く走り回る子どもたちの姿を見るのが好きです。その中に教師の姿を見つけると、更に嬉しくなります。『寄り添う』とはこういうことではないかと思うのです。行為の理屈や意味付けではなく、心の内から自然とわき出てくる温かな気持ちが織りなす様々な所作。まるで暖かな春の日差しのように。



日	曜日	予定
1	日	
2	月	一斉下校、通学路点検
3	火	全校朝会
4	水	
5	木	委員会活動
6	金	6年生を送る会
7	土	
8	日	
9	月	表彰朝会
10	火	5時間授業
11	水	6年学習参観、感謝の会
12	木	クラブ
13	金	特別日課
14	土	
15	日	
16	月	特別日課
17	火	特別日課
18	水	特別日課、卒業式予行
19	木	特別日課
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	給食終了、卒業式準備
24	火	卒業証書授与式
25	水	3時間授業、大掃除
26	木	修了式
27	金	学年末休業日
28	土	
29	日	
30	月	春休み
31	火	

- 4/6(月) 入学式準備(6年)
- 4/8(水) 始業式、入学式
- 4/13(月) 給食開始
- 4/16(木) 全国学力・学習状況調査(6年)
- 4/22(水) 県学力・学習状況調査(4~6年)

エジプトから日本へ~学級活動の視察~

1月30日(木)に授業研究会(6年1組「学級活動」)を行いました。当日は市内の特別活動主任だけでなく、エジプトから多くの先生方が視察研修に来ました。これは、日本の教育(主に特別活動)をエジプトに広げるために日本の学校等で学んでいるそうです。当日は国際的な雰囲気の中で、しっかりとした建設的な話し合い活動が行われました。



授業の様子



お土産もいただきました

目指せ! ONE TEAM! ~長縄健ちゃんカップ~

2月4日(火)に、延期になっていた長縄健ちゃんカップが行われました。各クラスを2チームに分け、1分間に跳んだ回数の合計で競いました。長縄跳びはチームワークが大切です。チームで息を合わせ、心を合わせ、声を掛け合うことで絆が深まります。どのクラスもこの日のために体育の時間はもちろん、休み時間や放課後など一生懸命に練習してきました。体力の向上や学級の団結力が深まるなど様々な教育効果が見られました。当日は早朝にもかかわらず、多くの保護者の方に温かな声援をいただきまして、誠にありがとうございました。



大会当日の様子



長縄健ちゃんカップ 優勝チーム

ブロック	優勝チーム	回数
低学年	1年1組	89回
中学年	4年2組	203回
高学年	5年1組	256回

